

開講学科	教職センター（生物工学科）	前橋工科大学 シラバス			
科目名	教育相談	標準対象年次	選択／必修	科目コード	
		3年次	必修	21001101	
担当教員	音山若穂	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	月曜	5時限
授業の教育目的・目標	教育に対する深い理解と教職に対する強い情熱を持ち、教育の専門家として確かな力量を備え、総合的な人間力を持って生徒に支援ができる実践的指導力を兼ね備えた教員の養成を目的とする。				
学科の学習・教育目標との関係	「教員として働くことの意義を理解し、教職への熱意をもっている。」という目標を達成するために、生徒への接しかたや指導、教育相談についての方法を学ばせる				
キーワード	教育相談 カウンセリング 青年期の適応				
授業の概要	青年期に発現しやすい不適応や問題行動等に対して、教師として適切に対応し、相談ができるよう、教師として身に付けるべき教育カウンセリングに関する基本的な理論について学習する。前半は「生徒指導提要」の概観と、カウンセリングの対象となる青年期の問題について取り上げる。後半ではカウンセリングの基本的な考え方と技法を学ぶ。				
授業の計画	第1回： イントロダクション 教育カウンセリングとは何か 第2回： 教育相談の意義（生徒指導と教育相談の関係、学校における教育相談の特質） 第3回： 教育相談体制の構築（教育相談の体制作り、組織的な教育相談） 第4回： 教育相談の進め方（対象・場面、学級担任・担当教員・養護教員が行う相談） 第5回： スクールカウンセラー、専門機関等との連携 第6回： 生徒の心理と行動1：人格形成と適応 第7回： 生徒の心理と行動2：環境、家庭、学校と地域社会 第8回： 適応と不適応の心理1：心理的ストレスと対処 第9回： 適応と不適応の心理2：心理検査とアセスメント 第10回： カウンセリングの基礎と演習1：傾聴、リスニングスキル、個別アプローチ 第11回： カウンセリングの基礎と演習2：集団的アプローチ 第12回： 教育相談の実際1：不適応行動（不登校、非行、いじめなど）グループ演習 第13回： 教育相談の実際2：保護者対応（グループ演習） 第14回： 生徒の力を引き出す心理教育プログラム 第15回： 総括（まとめ）				
受講条件・関連科目	特になし				
授業方法	前半では講義、後半は演習中心とするが、いずれも毎時間、個人単位またはグループ単位の演習を含む。				
テキスト・参考書	テキスト「生徒指導提要」教育図書 第5章（または文部科学省ホームページ） 参考書：楠本恭久『教師をめざす人のための教育カウンセリング』日本文化科学社 2003年				
成績評価	・試験（60%） ・レポート（40%） ・その他 注意事項（ ）				
履修上の注意	特になし				